

学芸新聞

第10号
2018年(平成30年)7月20日発行

- 国際科誕生……………1・2
- 附属中学校宿泊行事……………3
- 輝く人……………4・5
- 高等学校修学旅行……………6・7
- 学芸スポーツ……………8

発行元



大阪学芸高等学校
OSAKA GAKUGEI SENIOR HIGH SCHOOL
大阪学芸高等学校附属中学校
OSAKA GAKUGEI JUNIOR HIGH SCHOOL

〒558-0003 大阪市住吉区长居1丁目4番15号
TEL.06-6693-6301 FAX.06-6693-5173

2019年4月

国際科誕生!!

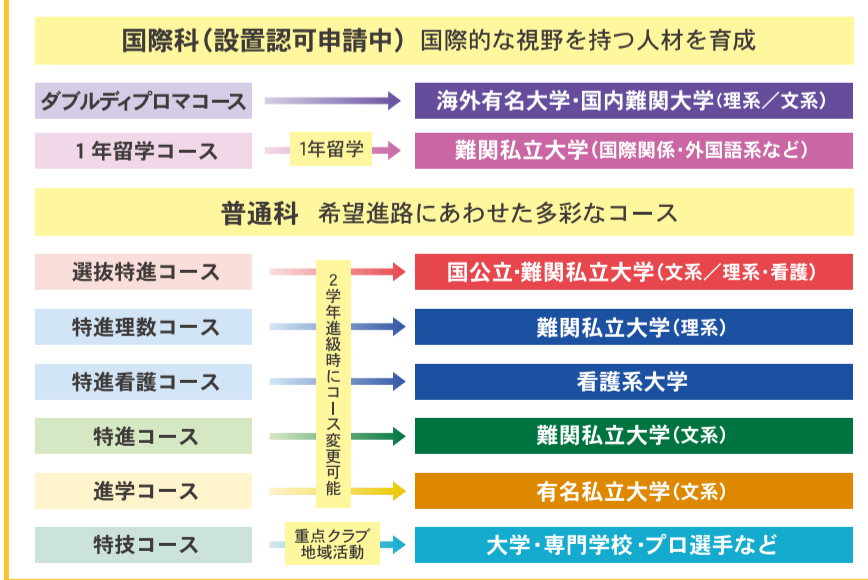


来年度、「1年留学コース」と「ダブルディプロマコース」が設置された国際科が誕生します。
従来から実施されてきた国際コース「1年留学」は、独自のプログラムであるOGOPやOGNPの制度はそのままに、新たに「1年留学コース」へと生まれ変わります。
また、関西初のグローバルプログラムを取り入れた「ダブルディプロマコース」では、本校と海外校“Osaka Gakugei Canadian International School (OGCIS)”、2つの学校に同時在籍し、本校教員だけでなく、カナダ(ブリティッシュ・コロンビア州)教員の授業も受けることで、日本とカナダの2つの高校卒業資格の取得が可能です。
※ダブルディプロマコースの詳細は2面をご覧ください。



個性に応じた8つのコース

未来を創る 大阪学芸チャート



入試説明会 OPEN SCHOOL

2018

対象 生徒・保護者
場所 本校

9月23日(日・祝)

10月21日(日)

11月3日(土・祝)

11月18日(日)

12月2日(日)

※入試説明会のみ

特技コース(地域活動)相談会

8月21日(火) ※あべのハルカス25F会議室

大阪学芸高等学校
OSAKA GAKUGEI SENIOR HIGH SCHOOL

お問い合わせ 募集対策部
〒558-0003 大阪市住吉区长居1丁目4番15号
TEL 06-6693-6301 FAX 06-6693-5173
www.osakagakugei.ac.jp/senior

大阪学芸高等学校 検索

詳しくは高校ホームページへ

関西初 カナダBCオフショアスクールが 本校「国際科」に開校



大阪学芸高等学校
OSAKA GAKUGEI SENIOR HIGH SCHOOL



Osaka Gakugei
Canadian International School



ダブルディプロマコース The BC Double Diploma Program

- 日本とカナダ、2つの高校卒業資格を同時に取得
- 世界の大学へ進学が可能
- 授業の60%以上が ALL ENGLISH

Osaka Gakugei Canadian International School 開校!

以前より、本校ではいち早く国際教育の重要性に目を向け、力を入れてきました。しかし一方では、1年留学は1年間親元を離れて生活することもあり、不安に感じるという声もあります。留学は短期に抑え、英語授業を充実させるという方法もありますが、それだけでは今の世の中に求められるグローバル化に対応した英語教育とは言えません。さらに留学から帰国した生徒の中には、海外の大学進学を希望する者もいます。

このような経緯から、本校は「ダブルディプロマコース」を設置することとなりました。カナダのブリティッシュ・コロンビア州(以下、BC州)政府の教育省が運営するオフショアスクール(海外校)“Osaka Gakugei Canadian International School(以下、OGCIS)”を国際科に開校。本校とOGCIS、2つの学校に同時在籍し、日本にいながらカナダの教育が受けられます。さらに日本とカナダ、2つの高校卒業資格を同時に取得することが可能です。BC州の教育は国際学力調査(PISA)による世界ランキングで総合4位となっており、世界で認められています。

「BCオフショアスクール」は現在世界中に45校(2018年6月現在)あり、BC州教育省は日本において、3つの地域にBCオフショアスクールを創ることを考えています。OGCISは東京の文化学園杉並高等学校に次いで「日本で2校目」、「関西では唯一」のBCオフショアスクールとなります。

全く新しいグローバルプログラム「ダブルディプロマコース」

現在、文部科学省が推進する「国際バカロレア(以下、IB)」は、国際的に認められる大学入学資格を取得することができます。しかし、IB資格はあくまでも民間資格となります。また、高校3年間のうち2年間のプログラムにより認定されるため、学校間で差が出る、指導教員が不足することも懸念されています。

一方、OGCISで取得可能なBC州高校卒業資格「BCドッグウッド・ディプロマ」は、3年間のプログラムです。OGCISでは授業の60%以上がALL ENGLISHで行われ、BC州認定教員によるアクティブラーニングやクリティカルシンキングが取り入れられています。また日本の履修科目は、本校教員が日本語で行います。特に英語だけの授業では困難な理系教科においては、本校教員が授業でフォローします。

BCドッグウッド・ディプロマは世界中の大学で認められており、取得していれば世界の大学へ進学が可能となります。また、BC州教育省が直接、成績証明書を大学に送ることにより、進学手続きが円滑に進みます。

ダブルディプロマをその手に、世界へ!

日本初のBCオフショアスクールである文化学園杉並高等学校は、昨年度、初めてダブルディプロマコースの卒業生を13名出しました。主な海外大学の進学先としては、ブリティッシュ・コロンビア大学などの世界ランキング100位以内の海外大学(参考:ブリティッシュ・コロンビア大学は34位、東京大学は46位)を始め、日本有数の大学である国際基督教大学、早稲田大学、上智大学にも進学しています。OGCISにおいても、同様の進学先を想定しています。

普通科の6コースに新設の国際科2コースが加わり、ますます進化する大阪学芸高等学校の今後に、ぜひご期待ください!

最高水準の教育で、世界の大学へ

This is an exciting opportunity to be a part of the BC Offshore Schools program in Japan. Join the thousands of other students who have successfully graduated from the British Columbia Academic Program and are now attending universities around the world.

The BC Academic Program ranks first in English-speaking countries in key academic areas. Our program offers all the courses leading to a BC high school graduation diploma. The BC Double Diploma Program is taught by BC-trained and certified teachers.

If attending an international university is your goal, the BC Double Diploma Program is your pathway.

BC Ministry of Education カナダ BC州教育省

Margaret Compo マーガレット・コンポ



◆ 附属中学校

平成28年度の開校から3年。1年生から3年生まで揃いました!!

附属中学校 宿泊行事

3年生 5/21(月)～5/25(金) オーストラリア修学旅行 ケアンズ方面

今年初めて3年生まで全学年がそろい、本校初の修学旅行が実施されました。英語教育・国際理解教育の集大成として、また、これまで身に付けてきた自主性・協調性を実際に発揮する場として、オーストラリア・ケアンズ方面でアクティビティ中心の内容での実施です。

夜に関西国際空港を飛び立ち、2日目の早朝にケアンズ空港に到着。現地で本格的に朝食をとり、身支度を調べ、車窓風景をテーマにした番組で有名になったキュランダ鉄道に乗り。撮影スポット満載の小旅行を満喫しました。キュランダ村ではグループ単位で早速、自由昼食と買い物を楽しみました。レインフォレストステーションではアボリジニ文化体験、プーマン体験とダンスショーへの飛び入り参加で大いに盛り上がりました。

連泊のマンガリーフォールズは世界最古の森として世界遺産に登録されている国立公園内の施設です。3日目はオージーキッズと一緒にアクティビティで、中学3年生のあり余るパワー全開です！夕方以降もカモノハシ探索、土ボタル鑑賞、星座鑑賞と楽しいメニューがいっぱいでした。

4日目は荒波を越えてグリーン島へ。世界遺産グレートバリアリーフの拠点です。シュノーケリングやグラスボートで透明な魚や珊瑚礁に感動。水深2m10cmのプールも楽しみました。ケアンズ市内に戻ってから、地元スーパーとギフトショップで家族や友人への土産物をあふれんばかりに購入した後は、最後の夜を過ごすコロニアルクラブホテルに直行。熱帯のリゾートといった風情の豪華ホテルでぐっすり眠り、ケアンズ空港から一路、直行便で関西国際空港を目指しました。

日程

- 1日目: 関西空港 発
- 2日目: レインフォレストステーション、キュランダ鉄道
- 3日目: マンガリーフォールズ
- 4日目: グリーン島
- 5日目: 関西空港 着



1年生 4/23(月)～4/24(火) 宿泊研修

大阪府立青少年海洋センター(大阪府泉南郡岬町淡輪)

昨年度は1学期末に別の実習地で実施していましたが、集団行動の中での規律をしっかり身に付けるには早いと越したことはない「鉄は熱いうちに打て」の教訓通り、思い切って4月実施に切り替えました。メインはカッターボート実習。2日間の必死の練習を経て、クラス対抗のレースをするなど、熱気溢れる実習となりました。それ以外にも、校歌の練習、集団行動(隊列)、ラジオ体操、長縄跳びなど、クラスや学年の皆で力を合わせなければできないメニューばかり。それでも、へこたれることなく強靱な体力と気力を引率・指導の先生たちに見せてくれました。

日程

- 1日目: 集団行動、カッター実習、長縄跳び、校歌練習
- 2日目: 早朝トレーニング、カッター実習、長縄跳び



2年生 7/9(月)～7/10(火) 勉強合宿

ホテルクラシア大阪ベイ(大阪市住之江区南港北)

2年生対象に今年度新たに誕生した宿泊行事です。3年生の海外修学旅行のホテルステイの予行演習と、課題解決に向けての集中力・持続力・克己心の育成という欲ばった目標を掲げた行事です。実施の様子などはホームページをご覧ください。

◆在学生の活躍

坂地さん、半井さん、奥野さんが出場!2018ユースオリンピックはアルゼンチン・ブエノスアイレスにて10月6日~18日の日程で開催予定です。応援よろしくお願いたします。

輝く人
レポート
Vol.25

ユースオリンピック出場決定!
勉強もスポーツも真摯に!まっすぐ日々成長中

2年1組 **坂地 心** さん



2018年3月 第37回全国高等学校空手道選抜大会 -59kg級優勝
2018年4月 東アジア大会 -59kg優勝
2018年5月 KARATEユースリーグINブルガリア・ソフィア -59kg級優勝
2018年5月 アジア大会IN沖縄 -59kg級3位

なお、高校空手道部は今春、JOCジュニアオリンピックカップ平成29年度第37回全国高等学校空手道選抜大会において女子団体形優勝をはたしました。また附属中学校空手道部は女子団体形・男子団体形・男子個人形において全国中学校空手道選手権大会出場を決めました。応援よろしくお願いたします。

Q空手道について教えてください。

A空手には形と組手の2つがあります。形は決められた動作に対して、正確に迫力のある演武をし、競うものです。組手は、相手と戦うもので、突き技、蹴り技を相手に決め、ポイントで勝敗が決まります。私は組手をやっています。

Q空手道を始めたきっかけは何ですか?

A兄が空手を始めたことがきっかけで小学1年の頃から始めました。

Q活動を続けていく中で、よかったことや辛かったことを教えてください。

A辛かったのは練習でうまくいかない時や、練習についていけない時です。中でも一番辛かったのは試合に出ても勝てず結果が出なかった時期です。しかし、そんな時期があったからこそ、もっと頑張ろうと思えたと、今に繋がっているのだと思います。

活動を続ける中で辛いことも含め、人として成長できました。空手でしか味わうことのできない感動もあり、さまざまなことすべてが自分の中でとても良い経験だと思っています。

Q学業と両立させるためにしていることはありますか?

A受けることができなかった授業の分のノートを見せたり、教えてもらったりしています。先生方も、わからないところを訊くと積極的に教えてくださるので、欠席した授業内容も補うことができています。

Qユースオリンピック出場を決めた大会の感想、そのときの思いを教えてください。

A参加人数が多く、優勝までは遠く感じましたが、先の事は考えず、

1試合1試合を大切に挑みました。この大会では、メダル獲得を求められていて、勝たなければならないプレッシャーも大きく、負けてはいけないという気持ちにもなりましたが、勝ち負けよりもまずは自分のベストを尽くすことを一番に考えました。海外の大きい試合での優勝はこの大会が初めてだったので、本当に嬉しかったです。

Qユースオリンピックに向けた意気込みと、将来の目標について教えてください。

A今までの大会の規模とは全く違って大きいので、まだ実感はわいていませんが、楽しんで試合をしていきたいと思っています。ユースオリンピックまでに、いまある自分の課題を克服し、自信をもって試合に挑めるようにします。そして、代表として出場するからには、人として恥じない態度で正々堂々と勝負し、誰からも認められる勝ちにしたいです。将来はオリンピックに出場し、金メダルを獲得ことが目標です。



輝く人
レポート
Vol.26

ユースオリンピック出場決定!
ストイックな精神で高みに挑み続けるダンサー

2年1組 **半井 重幸** さん



2018年5月 WDSF世界ユースブレイキン選手権 優勝

Qブレイクダンスについて教えてください。

Aブレイクダンス(breakin')は、オールドスクールヒップホップに分類されるストリートダンスの1つです。

Qダンスを始めたきっかけは何ですか?

A姉が先に習っていたことがきっかけで、7歳のころから習い始めました。

Q活動を続けていく中で、よかったことや辛かったことを教えてください。

Aよかったことは、国内や海外でたくさんの友達ができただけです。また、活動を続けていく中で、技術だけでなく、人間としても成長できたことです。反対に、怪我をしたり、練習の成果がなかなか出なかったりしたときはとても辛く感じました。

Q学業と両立させるためにしていることはありますか?

A移動中の飛行機の中や、滞在先のホテルなどでテスト勉強をしています。

Qユースオリンピック出場を決めた大会の感想、そのときの思いを教えてください。

A世界選手権(最終予選)に向けて長い期間、トレーニングや食事制限などをしていましたし、メンタル面でもこの大会に焦点をあてて集中してきたので、優勝して、出場権を獲得できたことが心から嬉しいです。大会当日も自分の中で納得のできる踊りができました。

Qユースオリンピックに向けた意気込みと、将来の目標について教えてください。

A日本中、世界中の方々が金メダル最有力候補選手として自分に期待してくださっているの、その期待に応えられるように頑張ります。金メダルを獲得します!これから出る大会すべてに全力で挑み、たくさんの歴史的1ページを作っていきたいと思っています。



男子バスケットボール部

部員 2年 4人 1年 18人
マネージャー 3人

活動日

曜日	月	火・木・土・日	水・金
	OFF	体育館	長居公園

キャプテン 要 佳導さん(2年)

今年の4月の終わりに3年生が引退してから約1か月たちました。3年生が抜けた分を補うことはまだ難しく、チームもしっかりとしたまとまりのできていない部分があります。部員全員が協力をして、できるだけ早くまとまるように努力しています。

普段の練習は、基礎を中心として、1つひとつの動きを大切にしています。基礎練習は、厳しくてしんどいことも多くあります。しかし、その練習を続けることで基盤を作り、試合で1つでも多く勝てるように努力しています。次回の試合では、3回戦突破をすることを大きな目標としています。その目標に向かって頑張っていきますので、応援よろしくお願いたします。



輝く人
レポート
Vol.27

ユースオリンピック出場決定!
夢を叶えるために忘れない学びの姿勢

3年2組 **奥野 有季**さん



2018年5月 第4回アジアトランポリン競技選手権大会 予選3位・最終結果4位
上記の結果、ユースオリンピック出場が決定



Q ユースオリンピック出場を決めた大会の感想、そのときの思いを教えてください。

A 大会会場のトランポリンの台が日本にない台だったので、とても不安でした。普段のように跳躍してもまったく跳ねず、あまりの跳びにくさに焦りを覚えました。演技中はひどく緊張していましたので、何も覚えていません。それくらい頭が真っ白でした。そのため、結果を聞いたときはとても驚きました。それとともに、責任の重大さをひしひしと感じました。

Q ユースオリンピックに向けた意気込みと、将来の目標について教えてください。

A ユースオリンピックは、10月6日～18日に開催されます。本番までは、短い時間しかありませんが、少しでも成長できるように頑張る練習します。私の現在のプログラムは、他の選手に比べて難易度が低いので、技の美しさを追求するのはもちろんですが、大会までの5か月で難易度の高い技を1つでも増やせるように頑張りたいと思っています。ユースオリンピックは17歳以下の選手しか参加できません。オリンピックと同様4年に一度しかないので、私がユースオリンピックに参加できるのはこれが最初で最後になります。人生で1回しかできない経験なので、自分として頑張るだけでなく、各国の選手から多くの事を学んで帰ってきたいと思っています。特に、会場でのアップの仕方やトレーニング方法、跳躍の仕方など、他の選手の良いところをどんどん取り入れていきたいです。
ここまでくるのに、たくさんの方々に支えていただきました。そのため、将来はスポーツをしている人の力になれるような仕事につきたいと考えています。鍼灸師やコーチ、トレーナーなど、選手に寄り添って、最適なタイミングで最高のパフォーマンスができるサポートをすることのできる人材になろうと思っています。

輝く人
レポート
Vol.28

諦めない粘り強さと
尽きない探究心

1年3組 **三原 涼**さん



2018年6月 第42回大阪府高等学校 将棋選手権大会 準優勝
2018年8月 第42回全国高等学校総合文化祭長野大会 大阪府第2代表として出場

Q 現在の活動について教えてください。

A 高校受験のため10月から3月まで将棋から離れていました。4月からは2週間～3週間に一度のペースで関西将棋会館に行っています。普段は家で3時間くらい研究やネット対局等を行っています。

Q 将棋を始めたきっかけは何ですか。

A 小学校4年生のとき、担任の先生に教えてもらったことがきっかけで始めました。

Q 将棋をやっていてよかったこと、辛かったことを教えてください。

A よかったことは、試合に勝てずに辛い時期があっても、諦めずに続けることでいつかは成果が出るということに気づけたことです。辛かったことは、大会で負けたときやライバルに先を越されたことなどです。

Q 学業と両立させるためにしていることはありますか？

A 授業での疑問をその日のうちに解決することを意識しています。毎日一定の時間は集中して勉強に取り組むようにしています。

Q 全国大会出場を決めたときの思いを教えてください。

A なかなか結果が出なくて諦めようと思ったときもありましたが、それでも諦めずに努力を続けてきてよかったと思いました。

Q 全国大会に向けての決意と将来の目標について教えてください。

A 全国大会までに、今より数段強くなり、良い結果を出せるようにしたいです。そして、高校生の中に全国大会で優勝したいと思っています。

速報

インターハイ出場決定!!

6月16日からJ-Green堺にて近畿大会が始まりました。大阪学芸高校は6月17日(日)vs高取国際(奈良1位)との試合でした。19-0の大差で勝ち、決勝に進むことができました。これにより、大阪学芸高校のインターハイ出場が決定いたしました。

18(月)に日ノ本学園(兵庫1位)と行われるはずの決勝戦でしたが、地震のため試合は延期となり、25日(月)17:00～(J-Green 堺にて)実施となりました。

インターハイは8月1日(水)～5日(日)静岡県藤枝市にて行われます。

8月1日(水)12:30キックオフ
対戦校: 藤枝順心高校(静岡)
会場: 藤枝総合運動公園サッカー場

引き続き応援宜しくお願いいたします。

女子サッカー一部

対戦結果

6月17日(日) 準決勝

大阪学芸(大阪) 19 — 0 高取国際(奈良)
日ノ本学園(兵庫) 12 — 0 京都精華(京都)

6月25日(月) 決勝

大阪学芸(大阪) 1 — 2 日ノ本学園(兵庫)
(1-1で延長戦)

女子バスケットボール部

部員 2年 6人 1年 11人
マネージャー 2人

活動日

曜日	月・火	水・金・土・日	木
	長居公園	体育館	OFF

キャプテン **寺内 凜**さん(2年)

女子バスケットボール部は、部員全員が個性豊かで、とても明るくにぎやかな部活です。「意識・チームワーク・ボイス」をモットーに、私学大会ベスト16を目標として、日々練習に励んでいます。真剣にやるべきときは真剣に、楽しむときは楽しむという切り換えを大切にして、短い時間でもより質の高い練習をできるよう心がけています。まだまだ至らないところもたくさんありますが、「応援されるチーム」になることを目指し、これからも19人全員で頑張ります。



◆修学旅行

2年生修学旅行

国内外各地を訪問

5月17日(木)～5月24日(木)の8日間、今年も日本を含む多コースに分かれて訪問しました。



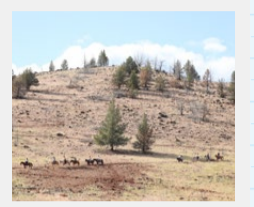
フィンランド
エストニア
ドイツ
スイス
イタリア

北海道
東京

シアトル
ポートランド

シンガポール
ビンタン島

オーストラリア



イタリア

1班	5月17日～23日	75名
2班	5月18日～24日	36名

日程

1日目:ローマ到着
 2日目:パチカン市園見学、コロッセオ
 3日目:B&Sプログラム、オルビエート見学
 4日目:フィレンツェ見学、市内研修
 5日目:ヴェネチア市内見学、ゴンドラセレナーデ

「物語のような世界に感動」

今回、イタリアコースの修学旅行は、教員4名、生徒75名、添乗員2名で構成された班と、教員2名、生徒36名、添乗員1名で構成された班との2班に分かれて行ってきました。ローマ、フィレンツェ、ヴェネチアといった主要都市や、美しい丘上都市オルビエートなどを訪れ、異国情緒に触れる有意義な機会となりました。

ローマではパチカン市園を見学しました。システイーナ礼拝堂の中の厳粛な雰囲気や『最後の審判』の迫力がとても印象的でした。また、コロッセオとフォロロマーノを訪れた際には、生徒たちはその雄大な姿に感銘を受けていました。さらに、現地の大学生に街中を案内していただくB&S(ブラザー&シスター)プログラムでは、最初は緊張していた生徒たちも次第に大学生と打ち解け、最後には別れを惜しんでいました。自分たちだけでは発見できないイタリアの魅力に気づけた

ことと思います。

ローマの街をあとにし向かったオルビエートでは、美しく華麗な大聖堂、中世の面影を残す街並みが強く心に残りました。その後訪れたフィレンツェは、芸術的な雰囲気が漂う都市でした。班別研修では街の趣を存分に味わい、ウフィツィ美術館では、ボッティチェリやラファエロなど、有名な画家の作品を心ゆくまで鑑賞することができました。

そして、ヴェネチアではゴンドラに乗って運河を巡り、物語のような世界に大変感動しました。さらに、サンマルコ広場やサンマルコ寺院、ドゥカーレ宮殿などを見学し、ヴェネチアの街の歴史を肌で感じる事ができました。

今回の旅行で生徒たちは、協調性を身につけ、積極的にコミュニケーションをとろうとすることの大切さに気付きました。また、イタリアという異文化に触れ、そのことによって日本文化を改めて見直すきっかけにもなったように思います。



フィンランド・エストニア

5月17日～23日 50名

「言葉の壁を越えた笑顔」

B&Sプログラムでは、現地の大学生と一緒にヘルシンキの街を散策しました。エストニアの学校交流では、浴衣の着付けや書道・折り紙・けん玉遊びなどを紹介しました。生徒たちは最初そ戸惑っている様子でしたが、言葉の壁を越えて笑顔でコミュニケーションをとっていました。現地の学生が母国語以外に英語も流暢に話す様子を目の当たりにし、生徒達は英語を学ぶ必要性を切実に感じたようでした。穏やかな人柄と街、世界遺産に触れ、貴重な経験を積むことができました。



日程

1日目:ヘルシンキ到着
 2日目:タンペレ市内見学、ヘルシンキ大聖堂
 3日目:ヘルシンキにてB&Sプログラム
 4日目:スオメンリンナ島(世界遺産)
 5日目:タリン旧市街見学、学校交流



シアトル・ポートランド

1班 5月17日～23日 45名

「全日快晴」

6泊7日のアメリカへの修学旅行、全て好天に恵まれました。カニータリゾートでは、日本とはスケールの違うラフティングや、乗馬、テニス、温水プールなどのアクティビティを楽しみました。セーフコフィールドは野球試合観戦だけでなく、ショッピングも楽しめる球場でした。ワシントン大学では歴史ある美しいキャンパスを大学生に案内していただき、アカデミックな環境に浸りました。最後の訪問地シアトルでは班別研修の形でショッピングやパイプレイスマーケットの見学を行いました。スターバックスコーヒー1号店を訪問できたことに、生徒たちは非常に感動していました。さらに、海外でのマナー、飛行機の乗り継ぎ方法など学ぶことの多い日々でした。



日程

- 1日:ポートランド到着
- 2日:ポートランド散策、カニータリゾート
- 3日:ラフティング体験、カニータリゾート
- 4日:メジャーリーグ観戦、ワシントン大学見学
- 5日:ボーイング工場見学、シアトルダウンタウン班別研修

2班 5月18日～24日 46名

「アメリカの文化と自然を満喫」

雨の街といわれるシアトルですが、期間中は好天に恵まれました。白熱したメジャーリーグ観戦、世界中の航空機を生産するボーイング工場内をめぐる見学ツアー、どこまでも広がる大地、大自然の中でのラフティング。いずれもアメリカでこそ経験・見聞できることばかりでした。日本では決して過ごすことのできない貴重な1週間となりました。



日程

- 1日:シアトル到着、メジャーリーグ観戦
- 2日:ボーイング工場見学、ワシントン大学見学
- 3日:ポートランド散策、カニータリゾート
- 4日:ラフティング体験、カニータリゾート
- 5日:シアトルダウンタウン班別研修



オーストラリア

5月18日～23日 41名

「南半球の豊かな大自然」

ガムナッツファームでは雄大な土地、豊かな自然の中で乗馬や乳搾りなどを体験、夜は満天の星空を仰ぎました。またモートン島では砂浜りや野生イルカへのえさやり、シュノーケリングなどさまざまなアクティビティを経験しました。学校訪問で訪れたウェーベルハイスクールの生徒のみなさんとの交流では、最初はお互い緊張しながらも徐々に打ち解けあい、非常に盛り上がりました。

全行程晴天に恵まれ、普段の生活ではできない経験を積んだ貴重な6日間となりました。



日程

- 1日:機内泊
- 2日:プリズベン到着、ガムナッツファームにて乗馬、キャンプファイアーなど体験
- 3日:ローンバイン保護区見学
- 4日:モートン島にてアクティビティ体験
- 5日:学校交流、サーファーズパラダイス班別研修



ドイツ・スイス

5月17日～23日 59名

「中世ヨーロッパの魅力と大自然」

ハイデルベルグやローテンブルクなど、中世の街並みを多く残している地を訪れ、その歴史に触れることができました。いずれの地も歴史を重ねた魅力があり、生徒の多くが常にカメラを構え、撮影に勤しんでいました。ユングフラウヨッホでは、頂上でこそ天候に恵まれませんでした。アルプスの雄大な自然を身近に感じることができました。



日程

- 1日:ヘッペンハイム到着
- 2日:ライン川クルーズ、ハイデルベルグ城
- 3日:ローテンブルク散策、ウィース教会見学
- 4日:ノイシュバンシュタイン城見学
- 5日:ユングフラウヨッホ、インターラーケン班別研修



シンガポール・ビンタン島

1班 5月17日～22日 73名

「異国の地での体験」

ビンタン島では、生徒達はマリンスポーツなどさまざまな体験を通じ、他の国から訪れた方々と一生懸命コミュニケーションを取りながらともに楽しむ姿が見られました。シンガポール市内観光では、街並み見学やマーケットでの購入体験を通して異文化を肌で感じる事ができました。



日程

- 1日:マライオンパーク記念撮影
- 2・3日:インドネシア・ビンタン島でアクティビティ体験
- 4日:シンガポール市内観光、ナイトサファリパーク
- 5日:USS班別行動、マリーナベイサンズスカイパーク

2班 5月18日～23日 72名

「豊かな自然に感動」

シンガポール市内観光では、リトルインディアやチャイナタウンなどを訪れ、日本とは異なる言語や文化にふれ、世界の広さを感じました。ナイトサファリでは専用トラム内から動物を間近で見ることができ、感動の連続でした。自然が豊かなビンタン島では、クラブメッドでさまざまなアクティビティを体験しました。



日程

- 1日:マライオンパーク記念撮影
- 2日:シンガポール市内観光、マリーナベイサンズスカイパーク、ナイトサファリパーク
- 3・4日:インドネシア・ビンタン島でアクティビティ体験
- 5日:USS班別行動



北海道・東京

5月17日～22日 30名

「自然と都会のいいところを堪能」

北海道・東京コースでは、まず北海道へと向かいました。札幌・小樽の市内観光では、大阪とは異なる歴史や文化を感じ学びました。また、大自然や動物と触れ合う機会を持つことで、日常生活では気付かなかった、生命や自然の偉大さや大切さを学びました。次に訪れた東京では、それぞれの班が計画を立てて自主研修を行う機会となりました。最先端の都市や技術を体験する班もあれば、歴史を感じとる班もあり、有意義な研修となりました。



日程

- 1日:ノーザンホースパーク、小樽市内班別研修
- 2日:札幌市内班別研修、旭山動物園
- 3日:ラフティング体験
- 4日:阿寒湖遊覧船、渡辺体験牧場
- 5日:東京ディズニーランドまたはシー
- 6日:都内班別研修





出場権獲得!!

インターハイ予選近畿大会

平成30年6月3日からインターハイ予選が始まり、18校がインターハイ出場をかけて戦いました。8月のインターハイ全国大会の前に近畿大会が行われますが、今年は大阪開催ということもあり、大阪府からは20校が出場することができ、6月3日の初日は、0点ゲームを展開し完封勝ちをするなど、圧倒的な強さを見せ勝ち進みました。2日目の4回戦は、近畿大会出場(ベスト16)をかけての試合となります。大阪府ベスト4の大阪緑涼高校と、早い段階での対戦となり、善戦はしましたが惜しくも敗退となりました。

その後、敗退したチーム同士で近畿大会代表決定戦を行いました。敗退した後すぐに行われる試合のため、精神的に切り替えることが出来るかが鍵となる試合でしたが、選手たちは見事に勝ちきり近畿大会出場を決めることができました。

今回の大会を通して、新しい戦術に挑戦し技術的に成長した選手の様子を見ることができた反面、レベルの高い相手と試合をするなど、力を発揮できず終わってしまう精神的弱さが課題として残り、改め大阪のレベルの高さを目の当たりにし、今後の課題がはつきり見えた大会となりました。

今年一年の女子バレーボール部は「最高ベスト4、最低近畿大会出場」を掲げ練習に励んでいます。最低目標である近畿大会出場権を得たことは自信にし、またレベルの高い大会に出場させていただけに感謝を忘れず邁進していきたいと思えます。

キャプテン 石塚 琉那さん(3年)
今回の試合にける思いは、部員一人ひとり強かったと思います。この試合は、新入生が大部から初めての大きな大会でした。新チームになってからの試合では、全く結果を出すことができていなかったのが、不安も大きかったです。4回戦では、自分たちらしく楽しんでプレーをするのをテーマに挑みましたが、結果には繋がりがありませんでした。そこでミーティングを行い、「こんなところで負けている場合じゃない。いつも通り、楽しんで思いっきりプレーしよう。」と全員で気持ちを新たに、次の試合に臨みました。しんどい場面もありましたが、全員でがんばり、近畿大会出場の切符を取ることができました。ここで満足せず、近畿大会では1つでも多く勝ち進み、応援してくださる方々に恩返しができるように頑張ります。



インターハイ予選

トーナメント戦

- 1回戦 大阪学芸 2 (25-2,25-0) 0 みどり清朋
- 2回戦 大阪学芸 2 (25-5,25-6) 0 富田林
- 3回戦 大阪学芸 2 (25-14,25-23) 0 日根野
- 4回戦 大阪学芸 0 (20-25,22-25) 2 大阪緑涼

近畿大会代表決定戦

- 大阪学芸 2 (25-18,23-25,25-16) 1 泉北
- 大阪学芸 2 (25-20,25-17) 0 関大第一

中学受験を考えていない小学生のみなさんにこそ知ってもらいたい私立中学校です!!



3つの「教育の特色」

座学重視

「静かで落ち着いた学習環境」を提供

充実の英語教育

週6時間の英語 + 週2時間の国際理解教育

目標は「両立」

「勉強1本」でもなく「クラブ1本」でもありません

英語資格入試・奨学金制度あり / その他特待制度あり

入試関連イベント2018

学校説明会・授業/クラブ体験(小4~6対象)・個別相談会

9/23 (日・祝)

入試説明会・プレテスト(小6対象)・個別相談会

10/21 (日) 11/3 (土・祝) 11/18 (日)
12/2 (日) 12/16 (日)

12/16は入試説明会・個別相談会のみ
※体験・プレテストはWEB申込が必要です。



大阪学芸高等学校附属中学校

OSAKA GAKUGEI JUNIOR HIGH SCHOOL

お問い合わせ

大阪学芸高等学校附属中学校

〒558-0003 大阪市住吉区長居1丁目4番15号
TEL 06-6693-6301 FAX 06-6693-5173

大阪学芸 附属中 検索